

## 熊谷家の 「むかし家事教室」2019

人は、昔からさまざまな道具を使ってくらししてきました。時代とともに、道具にはいろいろな工夫がなされ、私たちの生活はどんどん便利に快適に、今では道具など使わなくてもお金でなんでも手に入るようになりました。

本当に豊かなくらしとは？

着ること、食べること、住まうこと。  
昔のくらしを知り、自分の手で生み出す面白さを、  
私たちが生きていくための知恵を、学びます。

### 『ほうき』をつくろう！

11 土  
16



【午前】：「コーヒーブラシを編む」  
●時間：10時30分～11時30分  
●参加費：2,000円

【午後】：「テーブルブラシを編む」  
●時間：13時～15時  
●参加費：3,500円

●定員：各回8名  
●講師：フクシマアズサさん  
(ほうき職人)  
●パンツスタイル推奨

「ほうき」はお掃除の道具として古くから親しまれてきました。電気を使わなくても掃除が出来る、また汚れた所だけささっとお掃除出来るちやうとも便利な道具です。昨年大好評だった催し。茨城県で種から作るほうきづくりをしておられるフクシマアズサさんに教わりながら、ホウキモロコシのミニほうきをつくってみましょう！

### 『お味噌』を仕込もう！

2 土 火  
15 18

少し前までお味噌は大抵自分の家で作りました。家族総出もしくは近所の人と共同で大きな樽いっぱい一年分のお味噌を仕込みました。毎年恒例の大人気企画。発酵の達人橋田靴屋さんにご指南いただきながら「手前味噌」な自家製味噌を手作りしましょう！



●時間：13時～16時  
●定員：各回20名  
●参加費：(お味噌2kg)  
高校生以上：2,500円  
小・中学生：2,000円  
追加の味噌：2,000円

●講師：橋田良文さん(橋田靴屋)  
●持ってくるもの：エプロン、三角巾、容器(3ℓ)。  
容器をお持ちでない方はこちらで準備します。(別途料金)  
※お申し込みの際に、お味噌の追加と容器の有無をお知らせください。

主催：(同)家の女たち & 昭和のくらし博物館  
2019年度公益財団法人ごうぎん島根文化振興財団助成事業

### 『わらじ』をつくってみよう！

10 日  
6

藁葺屋根から藁草履まで、藁は生活に欠くことのできない材料でした。主に農閑期の作業として発達し、組んだり編んだり織ったりして、たくさんの道具を作りだしました。今回は山仕事や長旅などに履いたと言われる「わらじ」作りに挑戦します！



●時間：9時30分～16時30分  
●参加費：2,500円 ●定員：8名  
●講師：島崎庄次さん  
(有限会社シマサキ設計)  
●持ってくるもの：お弁当

### 『釜敷き』をつくろう！

1 月  
20



藁で作る昔ながらの釜敷き(鍋敷き)。このドーナツのような形にも理由があるのをご存知でしょうか？藁で作れたらステキだけれど、今ではなかなか手に入りにくい材料になってしまいました。今回は誰でも、今すぐにも実践できる布を使った釜敷きづくりに挑戦します。

●時間：10時～16時  
●参加費：2,000円 ●定員：10名  
●講師：おむらななえ(家の女たち)  
●持ってくるもの：お弁当

### 『あずま袋』を縫おう！

3 金  
13

「あずま袋」は一枚の布だけで作れる手さげ袋です。お出かけバックや、お弁当袋、小さく畳めるのでエコバックとしても使えてとっても便利です。和裁の基本「くける」技を教わりながら、古布のあずま袋を縫ってみましょう！



●時間：10時～16時  
●参加費：2,000円 ●定員：10名  
●講師：宇谷京子(家の女たち)  
●持ってくるもの：お弁当

### 申し込み受付開始 2019.9/27～

申し込みは、電話・FAXのみとさせていただきます。電話受付9:30～17:00  
Facebookのメッセージからの申し込みはできません。

【お申込み・お問合せ】重要文化財熊谷家住宅 家の女たち

〒694-0305 島根県大田市大森町ハ63  
TEL: 0854-89-9003 FAX: 0854-89-9009  
<http://kumagai.city.ohda.lg.jp/>  